



芸文協いしかわ

GEIBUNKYO ISHIKAWA

第59号
2022年9月20日発行

今年度第1回理事会 飛田会長を再任



国民文化祭へ今秋「キックオフ」 1年前プレイベント

一般財団法人石川県芸術文化協会は6月15日、金沢市の北國新聞交流ホールで2022年度第1回理事会を開きました。飛田秀一会長は、延期となっている「芸文協 春まつり」について、県内で2023年10月5日11月に催される国民文化祭(いしかわ百万石文化祭2023)とピエンナレいしかわ秋の芸術祭の1年前プレイベントの「キックオフパーティー」として、今年10月ごろに開催する考えを示しました。

飛田会長はあいさつで、1996年に15団体でスタートした芸文協の構成団体が3月に、学校法人金沢学院大学を加えて計50団体となり、石川の文化振興を担う組織として存在感が増していると述べました。また、ピエンナレと一体で実施する国民文化祭に触れ、「芸文協の構成団体が中心的な役割を果たす事業が多い。キックオフパーティーでは50団体の関係者が交流、親睦を深め、一致団結して機運を盛り上げたい」と強調しました。

理事会では、2021年度事業報告、収支決算などを承認したほか、会長に飛田会長を再任、副会長には酒井雅洋(県民文化化スポーツ部長)ほか4名を選任しました。また、空席となっていた顧問には、馳浩知事及び村山卓(金沢市長)の2名を選任しました。このほか、定時評議員会を6月30日に北國新聞交流ホールで開くことを承認しました。

理事会の決議に基づき、6月30日に定時評議員会が北國新聞交流ホールで開かれ、令和3年度の事業が報告されたほか、収支決算案、公益目的支出計画実施報告書案のほか、任期満了などに伴う評議員の選任、理事の一部変更などを承認しました。

▽副会長 酒井雅洋(県民文化化スポーツ部長) ○相川一郎(金沢市副市長) 浜崎英明(北國銀行会長) 温井伸(北國新聞社長) 櫻井伸一(北陸放送会長)

発行 一般財団法人石川県芸術文化協会 〒920-0919 石川県金沢市南町2番1号 TEL 076(263)6080 FAX 076(263)5999 ホームページ <http://www.geibunkyo.or.jp/> Eメール office@geibunkyo.or.jp

芸文協後援会員

- | | | | |
|------------------|-----------------|---------------------------|---------------|
| アーキ引越センター北陸(株) | 金沢エムザ | (株)テレビ金沢 | (株)ホクハイサービス |
| (株)アドバンス社 | クシマデザイン | ナカダ(株) | 北陸火工(株) |
| (株)アドマック | (株)ケイ・シー・エス | 中村留精密工業(株) | (株)北陸共立 |
| ANAクラウンプラザホテル金沢 | (株)サウンド・ソニック | 日本新聞インキ(株)中部営業所 | (株)北陸銀行 |
| (公財)石川県音楽文化振興事業団 | サカタインクス(株)北陸支店 | 日本製紙(株)関西営業支社 | 北陸総合警備保障(株) |
| 泉 幸志 | (株)柴舟小出 | (株)ネクステージ | 北陸電力(株)石川支店 |
| (株)一創 | (株)シ・ピ・エル | (株)ネスク | 北陸放送(株) |
| (株)インプレス | 渋川流剣詩舞道 | のと共栄信用金庫 | (株)北國銀行 |
| 畠村石道 | 清水建設(株)北陸支店 | 野村證券(株)金沢支店 | (株)北國新聞社 |
| (株)エフエム石川 | (株)車多酒造 | 八田製本印刷(有) | 北國新聞駅西販売(株) |
| 江守マリ子 | (株)シヨセキ | (株)英商会 | 北國不動産(株) |
| (株)オトムラ | (株)白や | (株)バルデザイングループ | ホテル日航金沢 |
| オフィス・クロシェット | (株)セーフティ | ピアノデザインジュ | 堀井聖水 |
| 学校法人金沢医科大学 | (有)ゼスト | 兵庫製紙(株) | (株)丸藤 |
| 学校法人金沢学院大学 | (株)双建 | 廣岡理樹 | (株)三谷サービスエンジン |
| 金沢ケーブル(株) | 損害保険ジャパン(株)金沢支店 | 富士フィルムビジネスイノベーションズ(株) | 三谷産業(株) |
| 金沢信用金庫 | 大王製紙(株)大阪支店 | 富士フィルムグローバルグラフィックシステムズ(株) | (株)ミュージッククラブ |
| (株)金沢東急ホテル | ダイダン(株)北陸支店 | (株)福光屋 | (有)ライターハウス |
| (公大)金沢美術工芸大学 | 太平ビルサービス(株) | 藤間勲寿々 | |
| (株)金沢舞台 | (株)ツータック | (株)ホクスイ | |

(順不同、敬称略)

今後とも芸文協の事業に対し、一層のご協力、ご支援をお願いいたします。なお、匿名ご希望の会員は掲載しておりません。

「芸文協後援会」 ご入会のお願

「石川の新しい芸術文化を育てよう」を趣旨に「芸文協後援会」は、広く会員各位からのご支援をいただき、芸術文化活動に寄与しております。石川の新しい芸術文化の育成と発展のために「芸文協後援会」にご入会いただき、ご協賛を賜りますようお願いいたします。

特別会員 年間会費10万円

◆特典

- ◎芸文協主催、共催行事へのご招待もしくは割引の優遇などをいたします。
- ◎芸文協加盟団体主催行事の割引優遇などもいたします。
- ◎芸文協年報、会報をお送りします。

通常会員 年間会費3万円

◆特典

- ◎芸文協主催、共催行事へのご招待もしくは割引の優遇などをいたします。
- ◎芸文協年報、会報をお送りします。

ご入会のお申し込み・お問い合わせ

一般財団法人石川県芸術文化協会 TEL076(263)6080 / FAX076(263)5999
Eメール office@geibunkyo.or.jp / ホームページ <http://www.geibunkyo.or.jp/>

2023ビエンナーレいしかわ秋の芸術祭 開催準備委員会を開催

50団体10月に「キックオフ」

2023ビエンナーレいしかわ秋の芸術祭(同実行委員会、石川県、一般財団法人県芸術文化協会主催)の開催準備委員会は7月27日、北國新聞交流ホールで初会合を開き、芸文協加盟50団体が結束を確認しました。国民文化祭とビエンナーレの開幕1年前のイベント「キックオフパーティー」を10月19日に金沢東急ホテルで開催し、石川の良質な文化の発信へ機運を高めることとしました。



委員長に就いた酒井雅洋(県民文化スポーツ部長)があいさつし、会則と役員、委員、基本計画を承認しました。

委員長に就いた酒井雅洋(県民文化スポーツ部長)があいさつし、会則と役員、委員、基本計画を承認しました。

年度内に開く2回目の会合で事業計画案をまとめ、23年度に設置する実行委員会で事業の詳細を決定することになりました。

準備委員会の役員、委員の皆さん

委員長 酒井雅洋(県民文化スポーツ部長)

副委員長 久保幸男(県芸術文化協会理事長)

委員 大場吉美(県美術文化協会理事長)、北方正喜(県音楽文化協会副理事長)、北村善哉(県音楽文化振興事業団事業部長)、岡能久(県能楽文化協会副会長)、大島宗翠(県茶道協会代表幹事)、市村理優(県いけ花文化協会専務理事)、山田寒山(県三曲協会理事長)、田澤結宇勢(県箏曲連盟理事長)、上杉徹男(県民謡協会事務局長)、中橋幸雄(県太鼓連盟事務局長)、中川雅雪(県俳文学協会会長)、西川廣(県歌人協会副会長兼代表幹事)、赤池加久(県川柳協会会長)、北瀬岳櫻(県吟剣詩舞道連盟理事長)、若原容子(県洋舞連盟会長)、東美子(県婦人コーラス連盟会長)、粕谷雪子(県合唱連盟理事長)、水越久美子(県編物協会理事長)、中農和子(北陸服装文化協会理事長)、小島睦雄(県吹奏楽連盟事務局長)、小川伸洋(県水墨画連盟理事長)、岸哲也(北陸小唄協会事務局長)、秋山稔(県文芸協会理事長)、荒川ヒロキ(かなざわ演劇人協会会長)、中田飛泉(県書美術連盟副理事長)、長野裕(小松市文化協会副会長)、吉田康敏(金沢芸術創造財団理事長)、乙田修三(県歌謡文化協会理事長)、北本修(北國写真連盟理事長)、桶谷茂樹(YOSAKOIソーラン日本海組織委員会会長)、東海林也令子(県ピアノ協会会長)、長谷進一(金沢文化振興財団理事長)、太田章子(県リズムダンス協会会長)、藤間勤菊(北陸舞踊協会理事長)、中田一於(小松美術作家協会会長)、横山外茂二(県かるた協会会長)、飛田憲明(北國新聞赤羽ホール館長)、毎田健治(県和装文化協会副会長)、石崎孝彦(日本棋院支部石川県連合会副理事長・事務局長)、三角憲正(日本将棋連盟石川県支部連合会事務局長)、寺井剛敏(県ビジュアルデザイン協会会長)、山田正俊(県マーチングバンド協会理事長)、藤間勤寿々(県邦楽舞踊協会理事長)、河島洋(加賀市美術協会理事長)、松本季之(金沢美術工芸大学事務局長)、中村豊(日本洋舞連合J.I.D.U事務局長)、中川衛(金沢市工芸協会会長)、岡田眞二(県ダンス教師会会長)、山岸大成(日展石川会幹事)、飯田栄治(金沢学院大学芸術学部長)、兼政隆志(県文化振興課長)

監事 黒山 実(県音楽文化振興事業団事務局長)、谷野あづさ(県出納室出納課長)

事務局 西本東介(県芸術文化協会事務局長)

新任された芸文協の理事・評議員の皆さん

(理事) 西徳明(石川県文化振興課)、田澤結宇勢(県箏曲連盟理事長)、中川雅雪(県俳文学協会会長)、永井正子(県歌人協会会長)、若原容子(県洋舞連盟会長)、粕谷雪子(県合唱連盟理事長)、吉田康敏(金沢芸術創造財団理事長)、北本修(北國写真連盟理事長)、長谷進一(金沢文化振興財団理事長)、寺井剛敏(県ビジュアルデザイン協会会長)、東利裕(金沢市文化スポーツ局長)、飯田栄治(金沢学院大芸術学部長)

(評議員) 山瀬晋吾(県美術文化協会副理事長)、高岡幸子(県俳文学協会副会長)、外泰子(県合唱連盟事務局長)、田邊孝子(金沢芸術創造財団事業課長)、河島洋(加賀市美術協会理事長)、小森聡(金沢美大事務局次長)、前多敬子(日本洋舞連合J.I.D.U.理事)、大樋長左衛門(金沢市工芸協会理事長)、山本佐和子(県ダンス教師協会理事長)、石田陽介(日展石川会幹事)、市島桜魚(金沢学院大芸術学部芸術学科長)、兼政隆志(県文化振興課長)、本島一二(金沢市文化政策課長)、油野岳彦(北國銀行香林坊支店長)、竹本豊(北國新聞社文化部長)

文化^{けんらん} 150事業を展開

2023年秋の国民文化祭実行委が総会

ビエンナーレと連携

来年秋に石川県内で開催される国民文化祭(いしかわ百万石文化祭2023)の実行委員会総会が5月25日、金沢市の県立音楽堂で開かれ、実施計画を承認しました。2023年10月14日～11月26日の会期中を中心に計150程度の事業を展開し、絢爛(けんらん)な文化の粋を示すことになりました。

一般財団法人県芸術文化協会、県などが主催する「ビエンナーレいしかわ秋の芸術祭」を連携事業と位置付けて一体的に開催し、イベント内容の充実と発信力の強化につなげることになりました。

総会には県や県芸文協、19市町など94団体・機関の代表者らが出席しました。



これからの主な事業紹介

いしかわ芸術文化祭2022

芸文協加盟団体の次代を担う中堅・若手の育成を目的に開催

- ステージ部門** 10月1日(土)～10月2日(日) 北國新聞赤羽ホール
 参加団体: 1日目【石川県箏曲連盟、(公社)石川県太鼓連盟、石川県洋舞連盟、石川県ピアノ協会】
 2日目【(公社)石川県太鼓連盟、石川県吟剣詩舞道連盟、石川県邦楽舞踊協会、北陸舞踊協会】
- 展示部門** 9月30日(金)～10月2日(日) 北國新聞交流ホール
 参加団体: 石川県いけ花文化協会、石川県編物協会、北陸服装文化協会、石川県書美術連盟

芸文協まつり2022

2023年10月～11月に催される国民文化祭(いしかわ百万石文化祭2023)とビエンナーレいしかわ秋の芸術祭の1年前プレイベントの「キックオフパーティ」として開催します。

国民文化祭では、芸文協の加盟団体が中心的な役割を果たす事業が多く、関係者の交流と親睦を深め、国民文化祭・ビエンナーレの成功に向けて一致団結し、機運を高めることとしています。

■日時: 10月19日(水) 午後6時30分から ■会場: 金沢東急ホテル ポールルーム

これまでの主な事業紹介

0歳からの音楽会

世界を旅するコンサート 6月25日(土) 北國新聞赤羽ホール

バイオリンの根来かなうさん(金沢)とフルートの秋元三奈さん(金沢出身)、ピアノの沢芹菜さん(かほく)が出演され、飛行機の搭乗時に流れる葉加瀬太郎さんの「アナザー・スカイ」をはじめ、中国風の軽快な曲の「中国の太鼓」やアルゼンチンの音楽家ピアソラの「リベルタンゴ」など計15曲を奏でました。ディズニーソング「小さな世界」では、イギリスやアラビア、日本などさまざまなメロディーが織り込まれ、家族連れを音楽の世界旅行へいざないました。



多彩な音色を披露した出演者

至芸継承へ奨励金

石川の伝統芸能を支援 経済人会議が発足

飛田会長「本格支援の第一歩」

郷土が誇る伝統芸能を次代につなぐため、担い手を支援する「石川伝統芸能支援経済人会議」が7月4日発足しました。金沢東急ホテルで設立総会が開かれ、地元経済界が結束し、至芸を守り育てることを誓いました。

金沢のひがし、にし、主計町の三茶屋街と山中温泉の芸妓衆、地元を拠点とする邦楽舞踊家を支援対象とし、奨励金を贈ることを決定しました。

経済人会議は金沢商工会議所と金沢経済同友会、一般財団法人石川県芸術文化協会が連携して設立され、



企業経営者を中心に211件の会員申し込みがありました。

経済人会議の会長に県芸術文化協会の飛田秀一会長、理事長に金沢商工会議所の安宅建樹会頭が、副理事長には北村哲志金沢商工会議所副会頭、砂塚隆広金沢経済同友会代表幹事が就き、計71人が理事に選出されました。

顧問には馳浩知事、村山卓金沢市長が就きました。

芸能継承支援の輪広げ

石川伝統芸能支援経済人会議が総会・交流会を開催

金沢・山中芸妓、邦楽舞踊家に奨励金を贈呈

「石川伝統芸能支援経済人会議」は8月30日、金沢市のホテル日航金沢で総会・会員交流会を開き、金沢のひがし、にし、主計町の三茶屋街と山中温泉の芸妓衆、地元を拠点とする邦楽舞踊家に奨励金を贈呈しました。会員は企業経営者を中心に220人に上り、ふるさとに受け継がれた伝統芸能を守り育てるため、支援の輪を広げること誓いました。



総会後の交流会は金沢三茶屋街の芸妓による素囃子で幕を開け、会長の飛田秀一県芸術文化協会会長があいさつで、行政中心の芸妓支援を改め、経済人が資金を出して応援する形とした意義を語り、「やぐらを組み直して再スタートを切ったからには1回限りでは意味がない。令和の旦那衆としてさらに応援の輪を広げていきたい」と呼び掛けました。



創造性に富んだ舞を披露した
日本洋舞連合J.I.D.U.の
ダンススタジオスピエ



伸びやかな吟詠と勇壮な剣舞を
披露した石川県吟剣詩舞道連盟
の子どもたち



出演者がステージに集まったフィナーレ

ワークショップ

北國新聞交流ホールでは一般財団法人県美術文化協会、北陸服装文化協会、県書美術連盟の協力でワークショップが開かれ、参加者は絵画や彫刻、クリスマスリース作り、書道を楽しみました。



思い思いの絵を
描く子どもたち

石川子ども芸術祭

元気いっぱいに成果を披露

8月7日(日) 北國新聞赤羽ホール・北國新聞交流ホール

「石川子ども芸術祭2022」はコロナ禍で開催が3年ぶりとなりましたが、故郷の伝統芸能、文化の未来を担う子どもたちが、日頃の練習の成果を元気いっぱいに披露し、観客から盛大な拍手が送られました。

芸文協加盟団体の4歳~17歳の70人が出演し、県リズムダンス協会の加賀ジュニアリズムダンス教室の子どもたちによる軽快なステップで幕を開け、YOSAKOIソーラン日本海組織委員会KITA舞人Jr.が一糸乱れぬ演舞を繰り広げました。

県太鼓連盟の諸江夢太鼓鼓太郎・鼓太姫と県立ろう学校風神太鼓は迫力あるばちさばきで、会場を盛り上げ、日本洋舞連合J. I. D. U. のKCS中西優子ダンススペースとダンススタジオスピエは創造性あふれる踊りを披露しました。北陸舞踊協会、県邦楽舞踊協会からは日本舞踊の藤間勘広実、藤間勘菊、藤蔭美友喜、藤間三千也の各社中が華やかに舞いました。

県民謡協会の中村梅華社中は「小松おどり」など3曲を踊り、県吟剣詩舞道総連盟は伸びやかな吟詠と勇壮な剣舞で研さんの成果を示しました。

フィナーレでは、出演者がステージに集まり、観客から惜しめない拍手が送られました。



かわいらしい振り付けで会場を
盛り上げた加賀ジュニアリズム
ダンス教室

躍動するYOSAKOIソーラン
日本海組織委員会のKITA
舞人Jr.



迫力あるばちさばきで会場を
盛り上げた諸江夢太鼓鼓太郎・
鼓太姫